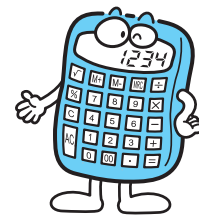


# 大磯町の財務諸表

町の財務分析の方法として、平成18年度決算に基づき町の財政状況を明らかにするために、企業会計的な考え方を取り入れた「バランスシート」「行政コスト計算書」「資金収支計算書」及び「純資産変動計算書」を作成しましたのでお知らせします。



## 大磯町のバランスシート（普通会計）

（平成19年3月31日現在）

（単位：百万円）

借 方		貸 方	
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
1. 有形固定資産	31,575	1. 固定負債	9,650
（うち土地	13,463）	・地方債	
・庁舎、福祉施設、公園施設、美化センター、学校施設等		（翌年度償還予定分を除く）、退職給与引当金等	
2. 投資等	2,123	2. 流動負債	775
・投資及び出資金、貸付金、特定目的基金等		・地方債	
3. 流動資産	1,207	（翌年度償還予定額）等	
・現金、預金（財政調整基金等）、未収金等		<b>負債合計</b>	<b>10,425</b>
<b>資産合計</b>	<b>34,905</b>	<b>【純資産の部】</b>	
		1. 国庫支出金	4,698
		2. 一般財源等	19,782
		<b>純資産合計</b>	<b>24,480</b>
		<b>負債・純資産合計</b>	<b>34,905</b>

### ◆バランスシート

◎町民一人あたりの資産は107万円、負債は32万円

バランスシートとは、町の施設（財産）や現金・債権などが年度末でどのくらいあるのかを一覧表にしたもので、過去からの財政運営の結果として蓄積された資産状況や、その調達財源を総括的に表しており、次の3つの内容から構成されています。

#### ◆資産

資産とは、町が所有している財産の内容と金額を示しており、「有形固定資産」「投資等」「流動資産」に分けられています。「有形固定資産」は町の施設などがどのように整備されてきたかを表しています。「投資等」「流動資産」は、町の現金、積立金、債権などが現在いくらあるかを表しています。

資産合計は34億500万円となっています。

#### ◆負債

負債は、「固定負債」と「流動負債」からなります。主に町の借金である「地方債」がこれにあたり、公共施設を建設するために町が借りた金額がいくら残っているかが分かります。

これらは借入金なので、住宅

#### ◆純資産

純資産は民間企業の資本に当たるものです。地方公共団体には資本という概念がありませんので、純資産からは、資産（公共施設など）を取得するために使ってきた国・県からの補助金、町税などの資金の内容が分かります。

これらの資産、負債などの状況を町民一人あたりに平均すると、資産額は107万円、これに対して負債額は32万円となっています。

バランスシートは、支出の結果としての資産状況は分かりませんが、資産以外に町の支出がどのように使われたか、全体の内容が分かりません。

このため町では、町全体の行政サービスのコストや資金繰りの内容などが分かる「行政コスト計算書」と「資金収支計算書」を作成しています。

## 大磯町の行政コスト計算書（普通会計）

（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：百万円）

<b>費用（コスト）の部</b>	
人件費など人にかかるコスト	2,706
物件費や維持補修費など物にかかるコスト	2,768
扶助費などの給付費コスト	2,204
町債利子などの財務費コスト	188
<b>費用（コスト）合計（A）</b>	<b>7,866</b>
<b>収入の部</b>	
使用料・手数料などの特定財源	428
国庫・県支出金	531
一般財源	6,124
<b>収入合計（B）</b>	<b>7,083</b>
<b>純資産国庫（県）支出金償却額（C）</b>	<b>222</b>
<b>差引一般財源等増加額（B - A + C）</b>	<b>△561</b>